

教員免許更新講習(選択領域)認定セミナー

2015 年度
桐朋学園大学音楽学部

シューベルトの考察

Schubert

2015 年 8 月 23 日 (日) ~ 25 日 (火)

* 教員免許更新講習対象外の方も参加できます

■ 申込要項

31歳という若さで他界したシューベルトだがその作品は数多い。また親しみ易くもあることから多くの人々に愛されている。学校音楽教育の現場においても、表現及び鑑賞の両分野にそれらの曲が取り上げられている。本講習はシューベルトの人物、作品、演奏等を多方面から研究し、作品の理解を深めることを目標としている。受講者の皆さんが授業を行う上で役立つ内容を、魅力的な講師陣によって提供したいと考えている。

1. 受講対象区分

【A】	教員免許状更新を目的とする小学校教諭 および 中学校・高等学校教諭 (教科：音楽)	定員 60 名
	平成 29 年 3 月 31 日までに修了確認期限をむかえる方 生年月日は以下のとおりです。 昭和 35 年(1960 年) 4 月 2 日～昭和 37 年(1962 年) 4 月 1 日生 昭和 45 年(1970 年) 4 月 2 日～昭和 47 年(1972 年) 4 月 1 日生 昭和 55 年(1980 年) 4 月 2 日～昭和 57 年(1982 年) 4 月 1 日生	
【B】	【A】にあてはまらない音楽教育関係者等	

※申込者多数の場合は、抽選で受講予定者を決定します。

2. 講習日程

2015 年 8 月 23 日（日）～25 日（火）[時間数：18 時間]

3. 講習会場

桐朋学園大学調布キャンパス 1 号館 [京王線 調布駅下車 徒歩 15 分]

〒182-0021 調布市調布ヶ丘 1-10-1 TEL：042-444-7055 (代表)

4. 受講料

受講対象【A】および【B】	3 日間	22,000 円
受講対象【B】のみ	1 日あたり	8,000 円

※ 受講料納入後、7 月 31 日までに受講取消の申し出があった場合は、受講料を返還します。

5. 受講申込受付期間

2015 年 4 月 16 日（木）～6 月 17 日（水） 郵送必着

6. 受講申込提出書類

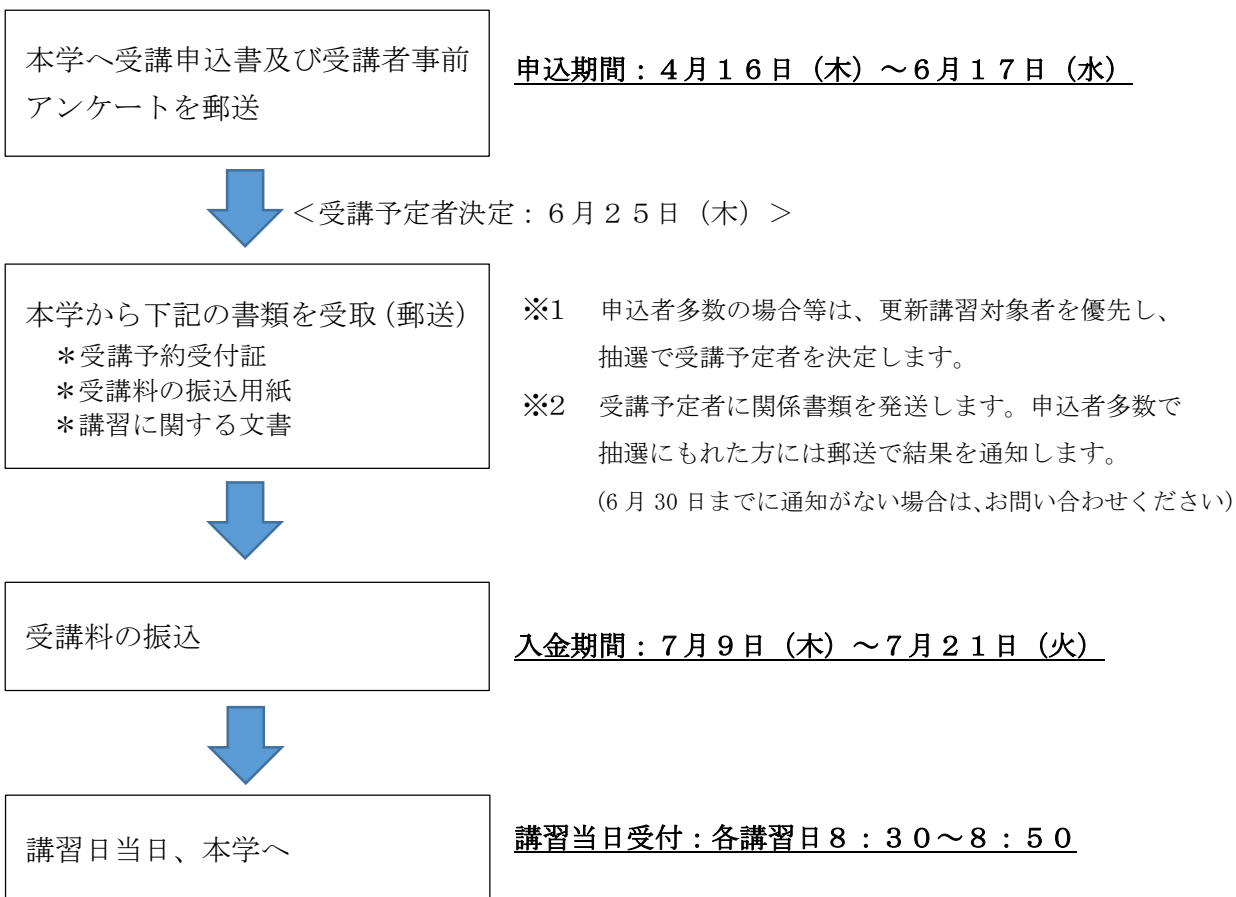
- ① 受講申込書
- ② 受講者事前アンケート ※【A】教員免許更新講習受講者のみ
- ③ 公開レッスン申込書 ※希望者のみ

・①～③を P.2 の下部に記載されている「教員免許更新講習(選択領域)認定セミナー係」宛に郵送してください。※郵送でのみ受け付けます

・上記の書類は本学のホームページから PDF ファイルでダウンロードできます。

<http://www.tohomusic.ac.jp/college/openclass/menkyo2015.html>

7. 申込みの流れ



8. 修了認定について (受講対象区分【A】での受講者のみ)

受講対象区分【A】「教員免許更新講習としての受講者」は、講習最後の試験を必ず受験してください。

また、定められた18時間を受講しなければ、履修認定がされませんので注意してください。試験合格者には9月25日付で『履修証明書』を発行し、送付いたします。

受講申し込みおよび問い合わせ先

桐朋学園大学 教務課 教員免許更新講習(選択領域)認定セミナー係

<仙川キャンパス>

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1

TEL : 03(3307)4113

E-mail : kyoshoku@tohomusic.ac.jp

■ 講習内容および時間割

1. 担当講師

- ・ 梅津 時比古 (本学学長、教授)
- ・ 倉田 澄子 (本学名誉教授)
- ・ 石島 正博 (本学教授)
- ・ 大橋 ゆり (本学教授)
- ・ 関田 英二 (本学教授)
- ・ 谷 茂樹 (本学教授)
- ・ 姫野 雅子 (本学教授)
- ・ 中井 恒仁 (本学准教授)
- ・ 安田 和信 (本学准教授)
- ・ 松井 康司 (桐朋学園芸術短期大学教授、本学非常勤講師)

※講師プロフィールは7, 8ページに掲載しています。

2. 講習予定 ※8:50 までに受付を済ませてください。

8月23日 (日)

	9:15	9:45	11:45	12:45	14:45	15:15	16:45
担当…谷・関田 オリエンテーション		<u>シューベルトの研究①</u> 担当：安田	休憩	<u>ピアノ五重奏「鱒」他</u> <u>演奏及びレクチャー</u> 担当：倉田、本学学生	休憩	<u>独歌曲を歌う①</u> 演奏法のレクチャーと公開レッスン 担当：松井	

8月24日 (月)

	9:15	9:30	11:45	12:45	14:45	15:15	16:45
オリエンテーション		<u>作品分析</u> 担当：石島	休憩	<u>演奏解釈</u> 公開レッスン及び レクチャーと演奏 担当：中井	休憩	<u>独歌曲を歌う②</u> 演奏法のレクチャーと公開レッスン 担当：大橋	

8月25日 (火)

	9:15	9:30	12:00	13:00	14:00	15:50	16:00	16:45
オリエンテーション		<u>シューベルトの研究②</u> (連作歌曲を含む) 担当：梅津	休憩	<u>他教科との</u> <u>授業連携</u> 担当：姫野		<u>演奏発表・鑑賞</u> (受講者の演奏を含む) 担当：谷、関田	休憩	<u>講習会のまとめ</u> (免許更新受講者は まとめの後に筆記試験) 担当：谷、関田

3. 講習内容

8月23日（日）

シューベルトの研究①

担当：安田和信

音楽学の立場から、シューベルトの器楽作品についての話をしたい。その際に主眼となるのは、シューベルトの器楽作品が声楽作品と同じように非常に独特な歴史的立場に立っているということであろう。同時代や後続世代の作曲家との比較や社会的文脈等を考慮しながらその歴史的立場を確認することで、本講座がより多面的なシューベルト受容の一助になれば幸いである。

ピアノ五重奏「鱒」他 演奏及びレクチャー

担当：倉田澄子

受講者及び本学学生による弦楽アンサンブルの公開レッスンを中心に講座を展開していく。その過程においてシューベルトの作品の特質や魅力について解説を行う。如何に演奏を行うか、如何に鑑賞するかという両面から考察する。曲目はピアノ五重奏「鱒」を中心に取り上げるが、可能な限り他の曲にも触れたい。担当講師と学生がチェロアンサンブルを披露するなど、音楽を楽しめる時間としたい。

独歌曲を歌う① 演奏法のレクチャーと公開レッスン

担当：松井康司

シューベルトの歌曲、「羊飼いの嘆きの歌」を取り上げ、音楽と言葉の関係、歌と伴奏の関係についてレクチャーし、それをもとに、受講生のレッスンを行っていきます。また、日本歌曲がドイツ歌曲から受けた影響や、相違点について比較しながら、ドイツ歌曲の魅力を探っていきます。

8月24日（月）

作品分析

担当：石島正博

シューベルトの楽曲分析を行う。19世紀初頭の他の作曲家との相違点、あるいは共通点、20世紀の作曲家、就中、新ウィーン楽派などへの語法の反映などを考察する。また学校音楽教育における鑑賞教材、あるいは表現教材として、どのように取り上げるかという提案も含めて講座を進めていく。

演奏解釈 公開レッスン及びレクチャーと演奏

担当：中井恒仁

「シューベルトは、同時代に生きる人と、そしてゆくゆくは後世の多くの人々の心に触れる魔法の言葉を持っていたのです。」私の師であるゲルハルト・オピッツ先生の言葉です。多くの人に愛されるシューベルトの音楽の魅力ピアノ作品から探してみたいと思います。ソロ作品の公開レッスンと、私と武田美和子の連弾の実演を交え、様々な角度からシューベルトの魔法の鍵を見つけていきましょう。

独歌曲を歌う② 演奏法のレクチャーと公開レッスン

担当：大橋ゆり

歌唱の基本となる発声法、そして「野ばら」などを題材にして、シューベルト歌曲の演奏法とドイツ語発音法のレクチャー、また後半は受講生の公開レッスンを行う。「野ばら」は平易な曲調ながら、子音の多いドイツ語をきれいに声にのせて歌うテクニックも必要で、演奏は決して簡単なものではない。ドイツ語の発音と韻律、歌唱に際して心がけるべき事などを探っていく。

8月25日(火)

シューベルトの研究②

担当：梅津時比古

歌曲は多岐にわたる要素から構成される。まず詩の文学的な解釈が、作曲家、歌手、ピアニストの三層に分かれる。さらに詩の音楽的な規定、すなわちディクシオンや、ドイツでは小学校から繰り返し習う詩の朗唱法などが加わる。そして作曲家の音楽と詩の融合や対峙がある。テキストの文学面はピアノに表現されることが多いので、ピアニストと歌手は対等に音楽的主導を行わなければ、良い歌曲演奏は生まれない。以上のことは、認識もされ追求もされている。意外に抜け落ちているのは、文化の文脈からの歌曲の理解だろう。シューベルトをテキストにそれらを追求したい。

他教科との授業連携

担当：姫野雅子

「曲を推薦する」という内容で他の教科とのコラボレーションを試みた。その取り組みを紹介する。実際には「情報」の授業での実践であり、「音楽専門科目」「図書館」との連携であるが、逆に「音楽」の授業として「世界史」「国語」「情報」「図書館」との連携も可能である。センター試験に代わる大学入試においては、教科の枠組みを超えた総合力やプレゼンテーション能力が求められており、そのような学習能力の向上にも有効と思われる。

■ 公開レッスン受講者の募集

本講習の以下の講座において、公開レッスンを行います。
希望する方は以下の通りお申込みください。

1. 申込み方法

「③ 公開レッスン申込書」に必要事項をご記入の上、本学までご提出ください。

尚、公開レッスン受講者に対して別途料金が発生することはありません。

また受講希望者が多い場合は、抽選とさせていただきます場合がございます。

※演奏曲目は、必ず原語でご記入ください。

<練習室の利用について>

希望者には公開レッスンの前日及び当日に練習室を準備しますので、必要な方は申込書にその旨をご記入ください。お申込みいただいた方には後日、練習時間・教室等をご連絡致します。

※練習室使用可能時間：9：00～17：00

2. 公開レッスン実施講座

下記のうち、いずれかを1つをお選びください。

8月23日（日）12：45-14：45

(ア)ピアノ五重奏「鱒」他 演奏及びレクチャー 担当：倉田澄子

曲目：弦楽アンサンブル「鱒」 全楽章

楽器は下記のいずれか

[ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス]

8月23日（日）15：15-16：45 または 8月24日（月）15：15-16：45

(イ)独歌曲を歌う①、② 演奏法のレクチャーと公開レッスン 担当：大橋ゆり、松井康司

曲目：以下の作曲家の作品から数曲（1曲以上はシューベルトの作品）を提出してください。

[シューベルト、ベートーヴェン、メンデルスゾーン、シューマン、ブラームス、

ヴォルフ、リヒャルト・シュトラウス]

※当日演奏していただく曲はこちらで指定させていただき、7月中にご連絡致します。

また松井講師及び大橋講師のいずれかが担当いたしますが、特にご希望がある場合は空欄に希望講師名をご記入ください。

※伴奏ピアニストはこちらで用意いたします。

8月24日（月）12：45-14：45

(ウ)演奏解釈 公開レッスン及びレクチャーと演奏 担当：中井恒仁

曲目：シューベルトのピアノ作品

■ 講師プロフィール (五十音順)

石島 正博 (本学教授)

桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)、桐朋学園大学卒。在学中、作曲を三善晃、ピアノを金澤希伊子、指揮を尾高忠明の諸氏に師事。1979年 MUSIC TODAY 国際作曲コンクール・ファイナリスト、1980年、日本音楽コンクール(管弦楽部門) 3位、1987-1989年フランス滞在。主な作品に《ODE》-ヴァイオリンとオーケストラのために(1984)、《艶夏》三味線とクラヴサンのために(2002)、《女歌》18声の女声のために(2006)、《WOVEN》-打楽器とピアノのために(2008)、《GREEN》-オーケストラのために(2009)、《CONCERTINO》-ソロ・チェロと12本のチェロアンサンブルのための(2010)、《REQUIEM》ピアノソロのために(2011)、《SOLUS》ヴァイオリンソロのために(2011)など。作品はダルムシュタット国際夏期アカデミー(ドイツ)他、ニューヨーク、パリ、モスクワ、ソウルなどで演奏、上演されている。作曲の他、研究・著書に「ラヴェルピアノ作品全集」(全3巻)(全音楽譜出版社刊)他がある。現在、桐朋学園大学教授。

梅津 時比古 (本学学長、教授)

早稲田大学第一文学部西洋哲学科卒。1982~83年ケルン音楽大学を中心にドイツの音楽教育事情を視察・研修。

2004年 著書「<セロ弾きのゴーシュ>の音楽論」で第54回(平成15年度)芸術選奨文部科学大臣賞および第19回岩手日報文学賞賢治賞を受賞。

2009年 NHK制定「日本の100冊」に著書「<ゴーシュ>という名前」が選ばれる。

2010年 「音楽評論に新しい世界を開いた」として日本記者クラブ賞を受賞

上記のほか、主な著書に「フェルメールの楽器」「冬の旅 24の象徴の森へ」「フェルメールの音」「音と言葉のソナタ」「耳のなかの地図」「日差しのなかのバッハ」「非日常と日常の音楽」「音をはこぶ風」など。

音楽評論活動のほか、CD、コンサートのプロデュース、内外のコンクール審査員も務める。早稲田大学講師。公益財団法人三井住友火災海上文化財団理事。公益財団法人ジェスク音楽文化振興会理事。公益財団法人福田靖子賞基金理事。公益財団法人アフィニス文化財団専門委員。横浜みなとみらいホール専門委員。横須賀芸術劇場推薦委員など。

大橋 ゆり (本学教授)

東京芸術大学卒業。同大学院修了。文化庁オペラ研修所第7期修了。第5回グローバル東敦子賞受賞。1991年より文化庁派遣芸術家在外研修員としてウィーンに留学。

これまでにモーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・エルヴィラ、「コシ・ファン・トゥッテ」ドラベラ、プッチーニ「トスカ」タイトルロール、「ラ・ボエーム」ミミ、マスカーニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」サントゥツァなどを演じる。「魔笛」「罪と罰」で新国立劇場にも出演。コンサートでは、N響はじめ主要オーケストラでR・シュトラウス「サロメ」、シェーンベルク「モーゼとアロン」、マーラー「交響曲第8番」、ベートーヴェン「第九」「荘厳ミサ」、モーツァルト「ハ短調ミサ」「レクイエム」、バッハ「ロ短調ミサ」等のソリストとして出演。2002年、05年、08年、11年、14年にはリサイタルを開き、いずれも好評を博す。

桐朋学園大学教授。二期会会員。

倉田 澄子 (本学名誉教授)

桐朋女子高等学校音楽科在学中、齋藤秀雄氏に師事。日本音楽コンクール入賞。同大学在学中フランス政府給費生として渡仏。P.トルトゥリエに師事。パリ国立高等音楽院のチェロ科と室内楽科を首席で卒業。帰国後はリサイタルや国内主要オーケストラとの協演等、活発に活動。瀋陽音楽学院で2年間の教授活動の他、中国各地のオーケストラとの協演、ロシア、フランスでの音楽祭等にも招かれている。最近では、朝日新聞社主催による浜離宮朝日ホールでのリサイタル2013年4月。P.Tortelier 生誕100年記念演奏会 Paris2014年4月。内外のコンクールの審査員も務め、更新の指導に力を注ぐ。桐朋学園「第7回・生江賞」受賞。現在、桐朋学園大学名誉教授。

関田 英二（本学教授）

桐朋学園大学音楽学部卒業、同研究生修了。1979年に桐朋女子高等学校教諭。歌唱、指揮、編曲、司会等マルチな分野で数多くのコンサートに出演し、サロンコンサートの普及に努めている。「子供のための音楽教室」から「生涯教育講座」まで幅広く音楽教育活動を行うとともに、東京都私立学校協会を中心に学校音楽教育の向上にむけた活動も行っている。現在、桐朋学園大学教授、二期会会員。

谷 茂樹（本学教授）

桐朋学園大学研究科卒業。二期会研究生25期終了。文化庁オペラ研修所第4期生終了。文化庁海外派遣生としてイタリア・ミラノに留学。伊藤武雄、中山悌一、平野忠彦の各氏に師事。二期会オペラ、新国立劇場、等数々のオペラに出演。現在、桐朋学園大学教授、二期会会員。

中井 恒仁（本学准教授）

東京藝術大学、同大学院、DAADの奨学生としてミュンヘン音楽大学大学院修了。日本音楽コンクール第3位、国際コンクールでは、ブラームス第2位・聴衆賞、セニガリア優勝・歌曲伴奏賞・室内楽賞、ヴィオッティ第3位等入賞多数。オーケストラとの協演、ブラームス全曲シリーズやリサイタルの他、夫人・武田美和子とのピアノデュオは国際音楽コンクール連盟加盟コンクールに個々のソロとデュオ共に入賞した唯一の邦人デュオで活発な活動を行っている。フランスの音楽祭やドイツでのリサイタルツアーに招聘され新聞紙上で高く評価された。テレビやラジオの出演、音楽誌への連載も行う。ソロのCD「ブラームス」やピアノデュオのCD「ファンタジー」他をリリース、今年は全日空国際線機内番組で放送予定。久留島武彦文化賞受賞。現在、桐朋学園大学准教授、名古屋音楽大学客員教授。これまでパリ・エコール・ノルマル音楽院でのマスターコースや、全国各地でセミナーを行っている。

姫野 雅子（本学教授）

1984年にお茶の水女子大学理学部生物学科を卒業し、同大学理学研究科生物学専攻修士課程を1986年に修了する。同年4月より桐朋学園大学ならびに桐朋女子高校音楽科に勤務。高校では「情報」の授業を担当し、図書館資料検索や楽譜・サウンド作成ソフトの利用等を指導し、大学では「情報処理」と「マルチメディア（コンピュータグラフィックス（CG）の作成）」の講座を担当している。学外では、2002年から理化学研究所情報基盤センターの研究者として、生体シミュレーションチームに所属し現在に至る。また2012年からは、北海道大学博士課程で学んでいる。スーパーコンピュータを用いた流体数値計算で、血管形状に関わる要因の解明を研究テーマとしている。

松井 康司（桐朋学園芸術短期大学教授、本学非常勤講師）

武蔵野音楽大学声楽科卒業。ドイツ国立フライブルク音楽大学大学院課程修了。帰国後は演連コンサート、音楽之友社主催の日本歌曲シリーズをはじめ多くのコンサートに出演している他、最近ではコンサートの企画も手がけている。オペラにおいては二期会公演「真夏の夜の夢」のスタブリンクをはじめ、「魔笛」のモノスタトス、「不思議の国のアリス」の笑い猫等、個性的な脇役に高い評価を得ている。また、東京室内歌劇場公演「リュウ・トゥンの夢」のリュウ・トゥン役にソウル室内オペラフェスティバルに参加している。CD「松井康司が歌う日本の抒情～やはらかに～」 「朗読と歌によるシューベルト歌曲集」 「松井康司が歌う日本の抒情～小さな法螺～」を発売中。レコード芸術誌上にて「これほどテキストの言葉のひとつひとつが歌と緻密に結びついて訴えてくる例はまれだ。」と高い評価を得ている。日本音楽コンクール入選。JSG国際シューベルトコンクール第二位。奏楽堂日本歌曲コンクール第三位入賞。現在、桐朋学園芸術短期大学教授及び桐朋学園大学講師。二期会会員。東京室内歌劇場会員。調布市せんがわ劇場音楽コーディネーター。

安田 和信（本学准教授）

国立音楽大学大学院音楽研究科音楽学専攻修了。杏林大学、国立音楽大学、桐朋学園大学、実践女子短期大学、東京理科大学、立教大学等の講師を経て、2014年4月から現職。主な研究領域はW.A.モーツァルトの音楽を中心とした18世紀後半の西洋音楽史。演奏会・CD批評や音楽祭の企画等にも携わる。現在、桐朋学園大学准教授。

■ 注意事項

- ・ 自然災害、交通機関の事故等のほか、本学の都合により講習を中止する場合があります。事前に中止が判明した場合は、本学のホームページでお知らせします。
- ・ 貴重品の取り扱いには十分注意してください。
- ・ 校内は駐車禁止です。電車・バスをご利用ください。
- ・ 宿泊の手配は各自でお願いします。
- ・ 会場として指定された教室以外には立ち入らないでください。

■ 受講申込書の記入方法について

2015年度 桐朋学園大学 夏期セミナー

① 受講申込書

ふりがな 氏名		【生年月日】 昭和 年 月 日	顔写真を 貼付して ください 縦 4cm 横 3cm
(戸籍名を楷書で記入)		【性別】 男・女	
連絡先	〒 電話： E-mail：		携帯：
現職 (勤務先)	出身大学等 および専攻	※【A】教員免許更新講習者のみ記入	

受講希望日数 (希望に○をつける)

1	3日間/¥20,000
2	1日または2日間 /1日あたり¥8,000 受講を希望する日に○をつけてください 23日・24日・25日

受講対象区分 (該当に○をつける)

【A】	教員免許更新講習として受講する方
【B】	【A】にあてはまらない音楽教育関係者の方

※申込書にご記入いただいた内容は、本講習に関すること以外の目的では使用しません。

→ 受講対象：【A】教員免許更新講習として申込をする場合は、以下も記入してください。
①～④の中の該当する区分に記入してください。

受講対象者の区分	① 小学校・中学校・高等学校・中等 教育学校に勤務している者 (勤務先および職名)
② 教員採用内定者・教員として任用文 は雇用される(見込みのある)者	(任命・雇用する(見込みのある)任命権者・学校法人・国立大学法人等勤務先)
③ 教員勤務経験者	(任命・雇用していた任命権者・学校法人・国立大学法人等の元勤務先)
④ その他	(勤務先および職名)

所持する免許状について記入してください。

免許状の種類	教 科	修了検定期限・有効期間満了の年月日
		平成 年 月 日
		平成 年 月 日
		平成 年 月 日

【証明者記入欄】 ※ 教員免許の更新を目的として受講する場合は校長等により受講対象者であることの証明を以下に受けてください。証明の方法はを裏面参照ください。(証明書類の添付でも可)

上記の者は教育職員免許法第9条の3第3項又は免許状更新講習規則第9条に規定する受講対象者に該当する。

平成 年 月 日 (証明者職名)

(証明者名) 印

※ 太枠内に必要事項を記入します

氏名

戸籍名を楷書で記してください。

写真

- ・ 正面上半身脱帽
- ・ 背景のないもの
- ・ 3ヶ月以内に撮影したもの

連絡先

受講証等の返送先になります。
正確に記入してください。

受講希望日数

1. 2. どちらかに○をつけます。

以下は「教員免許更新講習」として
受講する方のみ記入します。

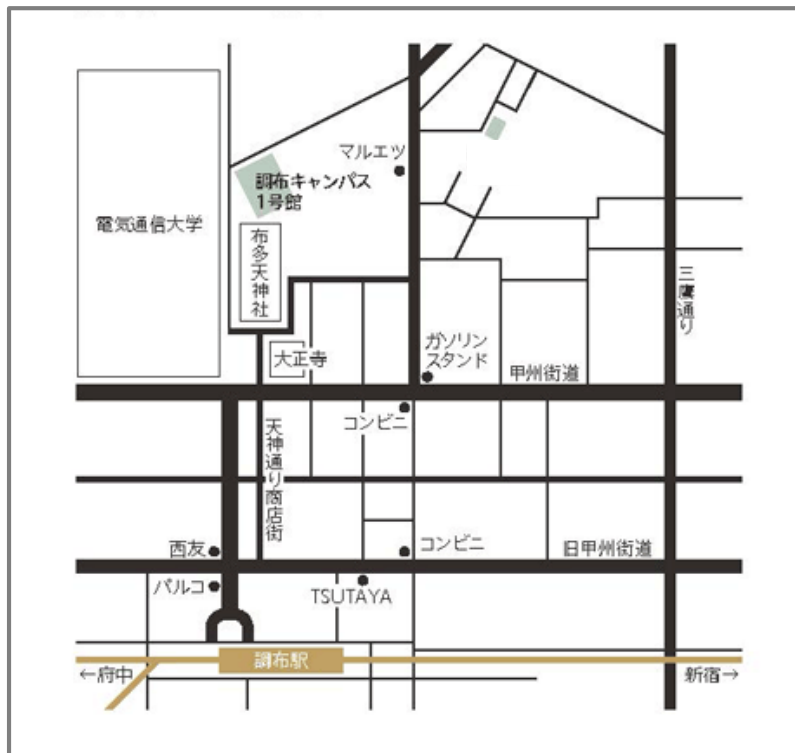
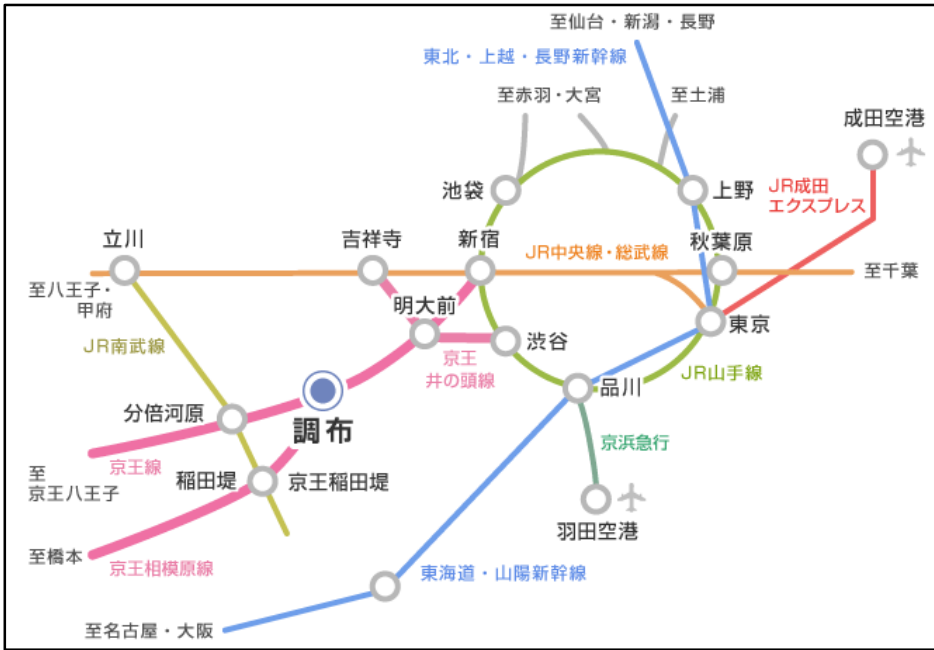
免許状に関して

所持する免許状の書き方については
申込書の裏面を参照してください。

証明者印

印が押されているか必ず確認して
ください。

■ 本学までの交通機関案内図



京王線「調布」駅より 徒歩 15分